

01 病気の治療や 研究で命を守る いし 医師

おしえて！医師のおしごと

医師は実際に患者さんに接して病気を診断・治療する臨床医と、基礎医学を研究する研究医の2つに大きく分類されます。臨床医はさらに病院や診療所に勤める勤務医と、医院や診療所を自分で経営する開業医に分けられます。開業医は、レントゲン撮影、医薬品、医療機器の購入、看護師さんの確保など、診療以外の仕事も多く行っています。研究医は大学病院などで患者さんの治療にあたりながら研究活動を行っています。

医師という職業は、肉体的にも精神的にも負担が大きくハードな仕事ですが同時に大きな充実感を得ることができます。

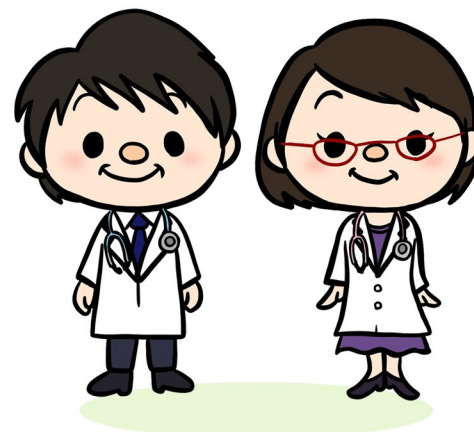
人間の生命という、もっとも大切なものにかかわるため、冷静な判断や行動が必要となります。さらに医師として確かな技術を身につけるためには、常に新しい知識を吸収しようという向学心が必要です。

患者さんと誠実なコミュニケーションをはかり信頼を得られる医師は、時代状況の変化などに関係なく常に求められています。



どうすれば医師になれるの？

医師として働くには、まず国家資格である医師免許の取得が必要です。高校卒業後、大学の医学部や医科大学で6年間学び、医師国家試験に合格しなければなりません。医師免許取得後、病院で2年間の臨床研修の後、さらに最低5年間、実際の医療現場で研修を行い、専門医試験に合格することで、内科や外科などの専門医として働くことができます。



豆知識

近年、日本では「医師不足」が深刻化しています。農村地区や離島では以前から医師不足が続いており、地方で暮らす住民が十分な医療を受けられないことが問題になっていましたが、医師不足は地方都市まで拡大しています。福岡市西区に小呂島（西区姪浜から約45キロ、人口200人ほど）という離島があります。当院では、済生会の使命である福祉活動の一環として、医師がいないこの島で昭和45年から年に一度、島民全員を対象に定期健康診断を行っています。また、昭和51年からは毎月、ヘリコプターで医師、歯科医師などを派遣し、診療を行っています。